

安全保障条約と集団的自衛権

安倍さんを筆頭とする与党が提案する集団自衛権の行き着くところ、当然、自衛隊の海外派遣が、問題になる。ノーベル物理学賞をもらった学者が 150 人を集め、主婦連が何百何千、あるいは何万人を集めて、「戦争反対！」と大声で喚く。物理学では偉いのかも知れないが、国防については、ただの人間。地球の裏側まで行って戦争をする、命をかけて（といっても自分は蚊帳の外で、あれほど嫌っている自衛隊の隊員のことを心配しているのである。ちょっとずれているような気がする。）他国の安全を護る必要があるのか？だから、この法案には反対という。・・・・まことに正論である。・・・・夏彦さんのいう「茶の間の正義」です。

小生は、この動きには反対である。それも「大」がつく。みなさん、肝腎のことを忘れている。いわゆる「平和ボケ」である。海外での自衛隊の活躍も視野には入るが、日本が攻撃されたときに、日本の、予算を削りに削られてきた現在の自衛隊だけで、攻撃してくる仮想敵国に対抗できるのか？（その間自分たちは、どこかに逃げてほとぼりが冷めた頃に出てくるつもりらしいが、今のような自由もなければ、遊んで暮らせるような状況にはないことを忘れている。）どこかの国に助けてもらわなければ、日本は、その敵国に蹂躪されるのである。それでも反対しますか？日本は、「平和！平和と叫んでいれば平和がくる」と信じている奇妙な国である。そのせいか、国境の島与那国島に自衛隊が今まで配備されていなかった。無茶な話で、中学生にまで投票権を与えて、ようやく自衛隊の配備ができるようになった。「国防」に無関心な国ではある。対馬にもいない。

反対する人が 3 万人も集まった、というけれども、真実だとしてもたったの 3 万人である。沖縄の 1 万人のデモ行進を 11 万人だったという新聞による捏造。NHKも改めることをしない。3 万人の票を集めれば国会議員になれる。狸がアカンベーしたような顔のオネエちゃんでも集めている。国民性でしょうか？

原発の警備に、軍隊が配置されていないことに世界中が驚嘆している。（実は、バカにしている。）テロや事故がおこったときに被害が大きい、などというが、それは規模ははるかに違うけれども飛行機でも同じことである。

70 年間、戦争がなかったからといって、今後も平和が維持されると思って

いるのですか？ なんの自衛の努力もせずに。平和と唱えるだけで平和になりますか？ 話し合いで戦争を回避できますか？引き金に手がかかっているのに、話せばわかる、と思いますか。2.26 事件で、「問答無用！」と殺害したことを忘れていてのではないか。そういうのを、民主党政権下で、藤原正彦氏が「夢見る乙女」と揶揄した。

初めから語れば長引くから、とりあえずの意見だけ書きます。一方的な見方で、腹黒い世界に対抗できるのでしょうか？ もとより、戦争には反対ですが、世界中の国が、「平和ボケ」の日本と同じ考え方をするとはかぎらない。中国を見てみよ。ロシアを見よ。

戦争反対！ だが、他の国がそう思っているかどうか、は別の次元の話である。日本国憲法の序文に書いてあるが、本当に、「平和を愛する諸国」を信じていることができますか？

「平和」を念仏のように唱えているが、どのような「平和」がいいのでしょうか。日本国が消滅する「植民地化された日本」でいいのですか。無抵抗で唯々諾々と「敵国」の言うがままにふりまわされてもいいというのですか？

ワタシは戦争を体験していますからね、というが、それは「敗戦体験」の間違いだろう？

2015.07.25.